

2019（令和元）年度

法人本部事業報告

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日

社会福祉法人 歓びの園

◎理事会の開催状況

本年度は、4回の理事会を開催しました。開催状況は以下の通りです。

	開催日	出席者	
		理事	監事
法人監査	5月27日(月)	—	2名
第1回理事会	6月3日(月)	6名/6名	2名/2名
第2回理事会	6月19日(水)	6名/6名	1名/2名
第3回理事会	10月16日(水)	6名/6名	2名/2名
第4回理事会	3月17日(火)	5名/6名	2名/2名

<理事会議題>

◇ 第1回理事会

審議事項

第1号議案 平成30年度事業報告及び平成30年度計算書類等の承認の件

第2号議案 次期役員候補者の件

第3号議案 定時評議員会の招集の件

報告事項

① 理事長の職務執行状況の報告

◇ 第2回理事会

審議事項

第1号議案 理事長選定の件

◇ 第3回理事会

審議事項

第1号議案 給与規程の改定(案)について

報告事項

① みゆき広場運営規程の改定について

② 理事長の職務執行状況の報告について

◇ 第4回理事会

審議事項

第1号議案 2019(令和元)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分一般会計第1次収支補正予算(案)について

第2号議案 2020(令和2)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分事業計画(案)並びに一般会計収支予算(案)について

第3号議案 公印管理規定(案)について

第4号議案 評議員会の決議の省略の承認について

報告事項

① 理事長の職務執行状況の報告について

◎評議員会の開催状況

本年度は、2回の評議員会を開催しました。開催状況は以下の通りです。

	開催日	出席者		
		評議員	理事	監事
第1回定時評議員会	6月19日(水)	6名/7名	1名	1名
第2回評議員会	3月25日(水)	書面決議7名	-	-

#### <評議員会議題>

##### ◇ 第1回定時評議員会

報告事項

平成30年度事業報告

決議事項

第1号議案 平成30年度計算書類・財産目録の承認の件

第2号議案 理事6名及び監事2名の選任の件

報告事項

① 理事長の職務執行状況の報告

##### ◇ 第2回評議員会

審議事項

第1号議案 2019(令和元)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分一般会計第1次収支補正予算(案)について

第2号議案 2020(令和2)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分事業計画(案)並びに一般会計収支予算(案)について

報告事項

① 公印管理規定(案)について

#### ◎評議員選任・解任委員会の開催状況

本年度、評議員選任・解任委員会は開催しませんでした。

#### 【役員等研修の状況】

2019 5. 9 令和元年度社会福祉法人理事・監事の改選手続き研修

広島県社会福祉会館 生藤理事長

2020 1. 30 社会福祉法人 監事研修(福山会場)

広島県民文化センターふくやま 吉田監事・野村監事・生藤理事長

2020 1. 30 社会福祉法人 理事・評議員研修(福山会場)

広島県民文化センターふくやま 生藤理事長

2019（令和元）年度

生活介護事業所  
みゆき広場  
事業報告

自 平成31年 4月1日  
至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人 歓びの園

## はじめに

理事長 生藤章洋

2020年1月の新型コロナウイルス上陸により日本国内で新型肺炎患者の発生が初めて確認されました。依頼、現在まで日本全土で新型コロナウイルス感染拡大防止の対応が迫られています。イベントの自粛や休校も続いており、4月7日の緊急事態宣言発令後も感染者数は増え続け、日々の生活もなかなか見通せない状況です。みゆき広場では利用者の皆様の通所支援が生活に必要な一部であると考え、3密（密閉、密集、密接）をできるだけ防ぐための対応を考えながら取り組んでいます。ご家族にはそのことを告げて通所を自粛していただいている方も10名程度いらっしゃいました。そして、通所を希望される利用者の方には送迎前の検温をお願いし、37.5℃以上の方や風症状の方は自宅待機をしていただいています。職員には消毒用アルコール携帯とマスクの着用をしてもらい、利用者の方が到着した際は手の消毒をお願いし、マスクができる方は着用してもらっています。支援の為ソーシャルディスタンスをとれない方が多い中で、創意工夫により現在も支援体制の改善を行っています。

みゆき広場の利用者状況については、前年度と比較して延べ147人分通所日数が減り、平均利用率は30.0人に利用減となりました。登録利用者38名の内1名は長期入院中、1名は通所せず自宅で1人暮らしをしながら居宅サービスを利用されています。その中、2019年4月末でグループホームへ入所された為、元の就労継続事業所へ戻られた方が1名、6月末で岡山県の施設へ入所された方が1名、2020年2月末にご家族の申し出で1名が退所され合計3名が退所されました。そして2019年4月16日に1名が、6月10日に1名の合計2名が情緒面治療で入院されました。その内1名は退院され2020年2月から通所されています。結果利用者が減り実利用者は現在33名になりました。

職員人事については、2019年5月末に非常勤支援員1名と2020年3月末に正職支援員1名が退職しました。また、2019年7月から非常勤支援員1名が、2020年3月から正職支援員1名が傷病の為休職となりました。支援員補充のため2019年9月に非常勤支援員1名を採用しています。結果的に支援員の人員配置体制は2020年3月末までは2:1に、2020年4月からは2.5:1に変更をしています。新年度からは2020年5月に正職支援員1名、6月に正職支援員1名の採用が決まっており、2020年6月からは1.7:1に人員配置を手厚くすることができます。

施設設備整備では、各所修繕面では浄化槽の蓋が老朽化のために部分破損しており、蓋全部を交換する工事を行いました。整備しました。そのほか、天井扇、照明2か所の修繕整備を行いました。車両整備では10人乗りの中古ハイエースを整備し、既存の10人乗り車両2台の故障に対応できるようにしました。2020年3月には2019年度日本財団助成車いす仕様福祉車両が整備され車椅子のまま送迎ができるようになりました。しかし、8人乗りセレナが送迎帰りに事故を起こし修理不能の為、廃車となりました。各所修繕が必要な個所としては電気設備が26年以上経過しており更新推奨時期を過ぎています。高経年化により事故に至るおそれがあるため取り換え工事が必要になっています。早急に取り換え工事を行う予定です。

利用者処遇面では、ご両親が他界され家では支援が困難な方が、引き続き複数の入所施設での短期入所を連続で利用しています。本人が体調を崩して短期入所が受入不可能になった場合はみゆき広場に宿泊して職員が対応をしています。最近では短期入所の受け入れを断られことがあり、みゆき広場に宿泊して職員が対応をするケースが増えています。4月14日からはコロナ感染拡大防止対応から入所施設の短期入所を連続で利用しています。

## ＜2019 年度みゆき広場利用状況＞

### ◇出欠状況(延べ人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	通所日(日)	22	22	23	23	22	20	24	22	21	20	21	22	262
	利用延人数(人)	657	661	699	687	687	623	733	663	652	620	614	657	7953
	平均利用率(人)	29.9	30	30.4	29.9	31.2	31.2	30.5	30.1	31	31	29.2	31.5	30.5
2019年度	通所日(日)	23	21	22	24	20	21	23	22	22	20	20	23	261
	利用延人数(人)	708	637	634	727	607	643	683	652	653	587	597	679	7807
	平均利用率(人)	30.8	30.3	28.8	30.3	30.4	30.6	29.7	29.6	29.7	29.4	29.9	29.5	30.0

\*2019年度:通所日261日, 利用延べ人数7,807人, 平均利用率30人

### ◇年代別 (人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
女性	0	3	1	4	1	1	10
男性	2	4	2	13	2	0	23
合計	2	7	3	17	3	1	33

### ◇障害支援区分 (人)

区分	2	3	4	5	6	合計
女性	0	0	0	3	7	10
男性	0	0	2	2	19	23
合計	0	0	2	5	26	33

2020年3月31日現在(実利用者)

## 【週間カリキュラム別状況】

### 《手作り》

- ・今年度の目標 それぞれが新しい技術の習得を目指し、製品の質の向上を目指す。イベント毎の出店で売れ筋商品を把握し作り進め収入を増やす。順調に販売を続けている雑巾は、引き続き丁寧な仕上げを目指し使い心地の良い喜ばれる製品の制作を目指していく。動物を形取ったランチョンマットやコースターも種類を増やし継続して販売している。今年度より新たな製品『フクロウの置き物』の販売を予定。出店時手に取って見ていただけ買ってもらえる製品を目指して制作を進めていきたい。今年度も引き続き、新たな製品の開発にも力を入れていきたい。
- ・実施場所 新館、食堂
- ・実施日と時間 月・火曜日／10：00～11：30・月・火・水曜日／13：00～14：30
- ・目的 制作する喜びを味わい、製品を販売して社会参加をする。
- ・内容 布製品の小物入れやバックの製作、毛糸の織物、髪飾りづくり、ビーズでブレスレットなどのアクセサリ製品等の制作、事業所内使用及び販売用の雑巾の製作、動物を形取ったランチョンマットやコースターの製作、今年度販売開始のフクロウの置き物の製作を行う。
- ・全体の評価 昨年度同様、次年度のふれあい広場やみゆきフェスタとリム福山販売に向け売れ筋を予測しながらで製品を作っていくようにしてきました。利用者の作業技術も向上しています。個別スペースの活用や作業配置の工夫で集中力を継続させ作業量や丁寧さも上がっています。また、引き続き今年度、新たな利用者の縫い物の練習をスタートできています。ビーズ製品についても、新たな利用者が携わるようになり、一年間を通して製作に力を入れ多く生産したが、みゆきフェスタで完売できました。縫製作業、ビーズ作業ともに利用者それぞれの技術に合った治具を作成、活用することで、より高度で丁寧な仕上がりを目指せました。昨年に続き、注文を受け注文品を作成するという機会も多く、利用者が、注文してもらったという意識を持ったことで、作業に対する意欲がかなり向上しています。買っていただいた方も非常に喜んでいただき、利用者にとって達成感を感じるよい機会となっています。販売用の雑巾は、順調に注文があり常に製作にあたる製品になっています。今年度新作製品のフクロウの置物も売れ筋商品になり、猫のクッションなど、更なる製品開発も進行中である。2019年6月よりトータルライフサポートふくやま様と契約を結び福山市博物館内のショップにてみゆき広場製品の販売を開始できました。開始当初から毎月安定した販売ができ、ショップの在庫切れの連絡が入るほどでした。

### 【作製品目】

布製品 : 小物入れ・ポーチ・バック・きんちやく袋・ペンケース・雑巾

ビーズ製品 : ブレスレット

### 《和紙作り》

- ・今年度の目標 牛乳パックを利用して和紙つくりと、製品作りを行っていく。牛乳パックから製品を作

る過程の中で1つでも多くの工程に参加してもらい製品が完成したことの達成感をもってもらう。紙の細かい繊維等にふれることで本人の持つ感覚を刺激する。

- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 月・金曜日/10:00~11:30
- ・目的 牛乳パックを使った和紙製品作りをとうして、機能訓練、社会参加をはかる。
- ・内容 牛乳パックを利用して和紙つくりと、製品作りを行っていく。牛乳パックから製品を作る過程の中で1つでも多くの工程に参加してもらい製品が完成したことの達成感をもってもらう。紙の細かい繊維等にふれることで本人の持つ感覚を刺激する。
- ・全体の評価 製品の作業工程に必ず利用者がかかわることができた。以前に比べて、作業時の机の配置を考えたり、タイムキーパーを使用して集中してできる環境作りを行うなかでカリキュラムを行いました。休憩時間などの利用も行いました。2019年夏より、トータルライフサポートふくやま様の紹介により福山草戸千軒ミュージアムへ和紙製品等を出品し販売を行いました。売れ行きはかなり好調ですぐに品薄になっている状態でした。利用者も、職員と共に製品を現地に届けて売り上げを直に手にすることで利用者のやる気にもつながっていました。売れ行きがよく製品作成が追いつかないといったうれしい悲鳴が上がりました。みゆき広場という存在を1人でも多くの人にってもらうよい機会であるため今後も継続して商品提供を継続していきます。2019年4月に行われたふれあい広場では牛乳パックを使用しての椅子は5つすべて完売した。和紙製品は、ハガキの売り上げが目立ってよかった。福山の商業施設リムふくやまで行われたイベントの彩フェスタでの売り上げは1190円。(2019年8月24日開催)ここでも、消しゴムハンコを使用してのハガキの売れ行きが好調でした。その他、2019年11月10日に御幸小学校で行われた(みゆきフェスタ)ではハガキ、一筆箋はもちろんお正月も近いことから、お年玉袋の売り上げが目立ってよかったです。他の福祉施設等と比べて和紙製品におす消しゴムハンコの可愛さやいろいろ、値段設定のひくいことあり売れ行きは好調でした。

## 《音楽》

- ・今年度の目標 全員が一体となって活動を行える環境を作り、音楽を通して表現力を身につける。音を聴き、「他の人と音を合わせる」ことを意識する。自分なりの表現を見出し、楽しみ方を見つける。金曜日の音楽では、忘年会クリスマス会での発表の場を想定し、曲選び、曲の構成、衣装選び、練習などに主体的に取り組めるようになる。合奏・合唱・ダンス等、一つの曲を他者と一緒に行うことで“やった!”という満足感・達成感を共有する。自分の役割を果たし、メンバーである自覚を持つ。
- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 火・金曜日/13:00~14:30
- ・目的 音楽と触れることで心身に快い刺激を与え、情緒の回復や安定、リフレッシュを図る。楽器に触れる、発声をする、ダンスをする等いろいろな表現で音楽を楽しむ。
- ・内容 曲に合わせて手や体を動かしリズムを体感する。リズムに合わせて、様々な楽器を鳴ら



す。音楽鑑賞・カラオケ等音楽を使ったレクリエーションも行っていく。

- ・全体の評価 火曜日と金曜日に音楽の時間があり、曜日によって内容が異なっています。火曜日は、主に「音楽療法」を行ってきました。音楽に合わせて、手拍子したり、楽器を鳴らしたり、ビニールひもで作ったボンボンを使っての感覚遊びやボール入れゲームなどに組み込んでいます。毎回、曲の順番通りに行っていくので、流れは定着しています。みんな、次に何をするかをわかっており、自ら次の行動に移ることができます。ただ、いつも同じということでは飽きもでてくるので、その時々で他の手遊びや歌などを入れるようにしてきました。元気な声で歌ったり、手遊びやボンボン遊びを楽しんだり、良い表情がよく見られています。金曜日は、12月にある忘年会クリスマス会でのステージ発表を目指して、1年かけて曲選び・構成・練習・衣装作成に取り組んできました。2019年度のテーマは話し合いを重ねて「ジャニーズ」の曲に決め、ハンドベルを含む合奏（ガラスの十代）、鳴子を持つてのダンス（抱きしめてトゥナイト）、ダンス（ハピネス）、合唱（世界に一つだけの花）の4曲で構成しました。音楽メンバー以外のみんなも巻き込んでみゆき広場の利用者全体でのステージ発表をしました。曲選びから積極的に意見が出ており、練習も毎回一生懸命取り組んでいた。練習を重ねるごとにみんなの振りや向き、声が合うようになっていきました。本番前、衣装を着た時にはみんなやる気になっており、発表終了後は笑顔が多く出ており、見てくれたお客さんからも褒めてもらえてメンバーは達成感や満足感を感じられたと思います。

## 《ガーデニング》

- ・今年度の目標 各利用者それぞれに何らかの役割をもって作業に関わることにより自然と親しむ経験を増やしていく。そして、水やり等が必要な時期はジョロを使用し水やりをするなど、カリキュラムメンバーとしての役割を果たしていく。四季に応じた野菜や、人気のある野菜の栽培への挑戦を行っていき、今後も利用者の工賃アップにつなげていく。また、収穫した野菜の調理方法や使い方の幅を広げていく。その他、季節をかんじられる場所（農園、公園）などにでかけ気分転換をはかっていく。
- ・実施場所 作業場1、食堂、みゆき広場の畑
- ・実施日と時間 月・水曜日／13：00～14：30・木曜日／10：00～11：30
- ・目的 園芸をとおして気持ちを穏やかにして暮らしの楽しみをひろげる。自ら土づくりから行い、野菜の栽培、収穫を通し、食の大切さを学んでいく。
- ・内容 園芸をとおして気持ちを穏やかにして暮らしの楽しみをひろげる。自ら土づくりから行い、野菜の栽培、収穫を通し、食の大切さを学んでいく。
- ・全体の評価 みゆき広場内にある数個の畑とプランターなどで、1年を通して色々な野菜を栽培し、収穫する事で様々な経験ができています。週3回と回数も増え、男性の利用者も増えた事から、栽培過程で一番大変な草取りや、土づくりなど力仕事やしんどい作業でも皆で力を合わせて畑を維持する事が出来ています。また、杭打ちや肥料運びなども積極的に行う様になって来ています。収穫した野菜の土を綺麗に落としたり洗ったり袋に詰めたり、値段を書いたり役割を分担して作業をする事も出来ています。大根やキ

ユウリ、白菜などは漬物にしたりと、調理をする行程も行いました。そういった一連の流れを通し、食べ物の大切さを改めて学び、野菜作りの楽しみを経験する事が出来たので、今後につなげて行きたいと思います。

## 《創作》

- ・今年度の目標 グループ作品の作成を増やし、協力して1つの形を作り出すことの喜びを感じる。個人で制作した作品をコンクール等に出展し、達成感を感じる。新しい作品展への応募を増やし、作ることの喜びと達成感を感じてもらう。
- ・実施場所 作業場1、作業場2、新館
- ・実施日と時間 火・金曜日/13:00~14:30・水曜日/10:00~11:30
- ・目的 同じ目標にむかい、協力して作品を作り上げる。絵を描く楽しみや、作品を作り上げた後の達成感などをもってもらう。
- ・内容 出展作品、応募作品作り、行事で使用する飾り作り、ふれあい広場でみんなにみてもらう作品作りなど、個人作品制作と共に全体作品の取り組みを強化していく。
- ・全体の評価 今年度も2020年アートルネッサンスへの出展作品やふれあい広場に展示する個人作品と全体作品を制作しました。火曜創作では服とマネキン、松ぼっくりを使ったワニを制作。水曜創作では福山城や行事で使用する飾りや看板作り、みゆきフェスタへの出展作品を制作しました。金曜創作では大阪城、障がい者週間出展作品の制作しました。作品を制作するにあたって物作りをする事の楽しさや完成した時の達成感、喜びを感じてもらえたと思います。2020年アートルネッサンスでは、『脳内ジュース』と『細胞の配列』の2作品が入選となりました。

## 《リサイクル》

- ・今年度の目標 缶の仕分け、缶つぶし、袋入れ、回収品運び等、利用者様全員が何らかの役割を持って作業に参加する様、作業内容を工夫する。回収先、納品先での挨拶等を大切にす。清掃活動を行い、地域とのつながりを大切にす。自然環境をきれいにする意識を持つ。利用者様1人1人に合わせて作業を考えて行き、楽しく作業が出来る様に支援できるよう作業ができる環境を職員が整備し支援する。
- ・実施場所 みゆき広場旧館前大屋根周辺・本館玄関ホール
- ・実施日と時間 月・水・金曜日/10:00~11:30
- ・目的 リサイクル物品を通じて地域社会につながっている意識づけを促す。リサイクル活動で限りある資源を大事にして自然環境にやさしい仕事をしていると意識づけを図る。
- ・内容 リサイクル物品を通じて地域社会につながっている意識づけを促す。リサイクル活動で限りある資源を大事にして自然環境にやさしい仕事をしていると意識づけを図る。
- ・全体の評価 作業者の得意な面を生かして意欲的に仕事をしてもらってきました。全般に作業内容を把握してきており、何をするかを自分で決めて作業する人もいて作業時間も早くなってきています。自分の仕事だと自覚し、仕事内容を事前に聞く人もいて、やりがいを持って仕事をするようになっている。回収先と納品先では挨拶ができています。

## 《散歩》

- ・今年度の目標 体を動かし、歩くことで身体の機能維持と、精神安定につとめ健康に過ごす。外部の人と、挨拶などをかわすことなどにより社会性を身につける。山の景色などから季節を感じ、リフレッシュを図る。歩くことで運動不足を解消する。自然の中で遊び、心身のリフレッシュを図る。山登りでは坂道のあるウォーキングコースを歩き、景色を楽しみながら歩く。勾配のある道を歩くことで歩行の練習をすると共に肥満軽減をはかる。さまざまな景色・物に触れるなどして気持ちの開放をはかる。
- ・実施場所 あんず公園、井原リフレッシュ公園、港町公園
- ・実施日と時間 火・木曜日／10:00～11:30 月・水・金曜日／13:00～14:30
- ・目的 歩行機能と体力の維持、増進、肥満軽減等をはかる。心身のリフレッシュと気分転換を図る。楽しみつつも、体力増進、機能維持、肥満軽減などを促す。山登りでは坂道を歩くことにより、脚の筋肉をつけるなど歩行の練習をする。散歩を通して生活習慣病を予防し、強い身体をつくり、病気に対する抵抗力をつけ、健康に過ごす。
- ・内容 各公園等まで施設車両で行き、公園内等のウォーキングコースを利用者の状況に配慮しながら歩く。また、みゆき広場周辺を散歩する事で周辺地域の住民との交流も図る。雨天の場合には、みゆき広場でレクリエーションを行ったり、屋根のある場所に行き、歩いたり、室内にて体を動かし体力増進やリフレッシュを図る。夏場はプールへ入り、楽しく遊んで熱射病を防ぎながらも、運動不足を解消する。
- ・全体の評価 本年度より新しく 2 名の利用者が散歩活動の参加されています。それぞれ自分の目標に向い散歩活動に参加しており、職員の声掛けや、自発的に歩く距離を増やしています。散歩中に会おう人と挨拶を交わして、社会と交流しています。目的の場所に行ってもなかなか降りる事が出来ない利用者がある事から見守りが必要な為、井原のリフレッシュ公園、港町公園、田尻のあんず広場と場所が限定されましたが、自分にあったペースで歩き達成感を味わっている。雨天時には室内でレクリエーションを行う事で、身体の柔軟性を高め体力増進や機能維持に努めてきました。夏場は熱射病にならない様に散歩は中止して晴れた日にプールへ入って水遊びして過ごし、楽しみながら運動してきました。しかし今年は天候に恵まれずプールに入る期間が少なくなりました。利用者の体調面に注意しながら状況に合わせて活動内容を考えながら無理のない様取り組みました。

## 《リラクゼーション》

- ・今年度の目標 PT と連携を取りながら、利用者に応じたメニューを行う。訓練を重ねることで本人が抱える身体的負担の軽減を図る。個人のペースに合わせ、細かく評価をしていくことで本人の訓練に対する意欲の向上を図る。
- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 火・木・金曜日／10:00～11:30
- ・目的 気持ちをリラックスできる時間を提供する。障害ゆえの不自然な姿勢や過剰な動きに

よる筋肉の緊張を緩め、生活しやすい身体づくりをする。

- ・内 容 ストレッチ、マッサージ、足浴等、気持ちを開放できるゆったりとした時間を設ける。機能維持・筋力維持・身体的負担軽減を目的とした機能訓練を行う。筋力維持・肥満軽減を目的とした筋トレを行う。生活場面で行う動作に必要な体の動きをその人それぞれにメニューを組み、身体を動かしていく。また、自転車やストレッチポールといった道具も使い、楽しんで体を動かせることを取り入れながら楽しんで体を動かしていく。
- ・全体の評価 個々の利用者それぞれに目標に沿って組まれた機能訓練を行ってきました。それぞれの利用者によるが、このカリキュラムでの機能訓練を通じてほぼ全員が現存機能を維持できているものと思われまます。中には目覚ましい回復を見せている利用者もいて、設定した目標を早いペースで達成している利用者もいます。今後もPTと連携を取り、計画に沿った利用者個々の機能訓練を施していきたいと思ひます。またその効果査定も行い、より利用者の機能維持・筋力維持・身体的負担軽減を促したいと思ひます。

#### 《箱庭》

- ・今年度の目標 穏やかな時間を過ごして、リラックスにつなげる。利用者がもつ表現力を引き出す。
- ・実施場所 相談室
- ・実施日と時間 月・水曜日／10：00～11：30
- ・目的 穏やかな時間を過ごして、リラックスにつなげる。利用者がもつ表現力を引き出す。
- ・内 容 みゆき広場の医務室を使用し、箱庭療法を行う。
- ・全体の評価 箱庭に誘うと多くの利用者が良い表情で部屋に移動してきています。アイテムを並べたり、人形で遊んだり、絵本を読んだりとそれぞれに楽しみ方があり、個性的である。一人一人に気に入っているおもちゃやアイテムがあり、部屋に入るとすぐにそれを取りに行ったりと、積極的な行動がみられています。また、職員とゆっくり話す時間もあり、いろいろな話をしてくれます。おしゃべりしてスッキリした表情で部屋を出る人もおり、楽しんでくれていることを感じます。箱庭がない日にも箱庭がある部屋のドアを開けようとしたたり、「次、いつ？」と聞いてくる人もおり、楽しみの1つになっているようです。リラックスできる場所を提供できました。

#### 《生活》

- ・今年度の目標 意欲的に活動に取り組み、新しい技術の習得を目指し、協力して仕事を成し遂げる経験を積む。
- ・実施場所 みゆき広場敷地内、職員駐車場
- ・実施日と時間 水曜日／10：00～11：30
- ・目的 生活全般に関する活動を行い生活技術の習得を目指す。施設敷地内で行える活動を通して、仕事に対する喜びを感じる。地域に、関わるような活動を目指す。
- ・内 容 洗車(施設車両)・草抜き(施設敷地内・職員駐車場)・洗濯・エアコンフィルター掃除・陶芸・衣替え・その他必要に応じて活動を行う(行事準備の手伝い、地域の方の家にチラシ配り)

- ・全体の評価 定期的な洗車や草取り、エアコンフィルターの掃除を行う事で、利用者それぞれのできることが定着してきています。利用者自身も自分の仕事に意欲を持って取り組めており定着しつつあります。他にも衣替えやチラシ配りなどできる事を増やしつつあり、今後も継続して色んな技術習得に向けて活動していこうと思います。

### 《ドライブクラブ》

- ・今年度の目標 道中や車中でも楽しめる、また到着地でも楽しめるような場所設定をし、休憩場所やトイレ、水分補給をスムーズに行えるように計画にしていける。行きたい場所は利用者の意見を取り入れながら、楽しんで参加でき、車中でも楽しく話ができる雰囲気作りを行っていく。運転には十分注意し、安全運転に徹する。出先で体験できる事があれば進んで参加する機会を提供できるようにする。
- ・実施場所
  - 4月：小田川に桜を見に行く
  - 5月：福山 SA にバラを見に行く
  - 6月：福山市立植物園
  - 7月：井原駅に七夕飾りを見に行く
  - 8月：笠岡道の駅にひまわりを見に行く
  - 9月：グリーンライン
  - 10月：井原かかし祭り・笠岡道の駅にコスモス畑を見に行く
  - 11月：さんわステーション・福山港
  - 2月：沼隈道の駅
  - 3月：田尻の菜の花畑
- ・実施日と時間 土曜日／10:00～11:30
- ・目的 外気浴を楽しむ。車窓からその季節それぞれの景色や風を感じ気持ちのリフレッシュを図る。
- ・内容 車で近隣地域をドライブし、行った先で散策する。
- ・全体の評価 天候や行事準備等で、全体や他クラブと合同でのレクリエーションで外出しない日もあったが、出かける時には、桜・バラ・ひまわり・コスモス等を見に行き、それぞれの季節を感じさせる場所にドライブに行っている。利用者からの行き先のリクエストが聞かれることも多くなってきました。

### 《お料理クラブ》

- ・今年度の目標 興味を持って、楽しく活動に取り組む。レシピや写真などで作業工程を確認し、作業に取り組む。みんなで作業を分担し、協力して1つの料理を完成させる。器具や火の取り扱いに注意が払えるようになり、料理のスキルを向上させる。爪や手洗いなど、衛生面への意識を持つ。
- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 土曜日／10:00～11:30
- ・目的 料理の楽しさを知る。達成感、満足感を得る。感覚を刺激する。形の変化を味わう。

- ・内 容 土曜日の昼食の小鉢一品やデザート作りをする。次回作る料理を考える。みゆき広場のガーデニングで収穫した野菜や果物を出来るだけ取り入れ、季節を感じられるメニューを作る。
- ・全体の評価 みんな、その日作る料理に対して、興味を持って取り組むことができています。作る工程の説明もよく聞いていました。どの役割が回ってきても、一人一人が積極的にやり遂げています。「たまごを割る」「包丁を使う」「かき混ぜる」「ひっくり返す」などの動作が、みんなスキルアップしていると感じます。手洗いや爪のチェックは毎回しており、衛生面への意識も少しずつ身につけてきています。しかし、まだ手袋を付け忘れたり、料理中に頭や顔を掻いたりすることがあるため、衛生面を意識できるように声かけしてきました。作った料理を食べたみんなからの「おいしかったよ」「また作ってね」という感想は、料理クラブメンバーの自信とやる気につながっているようで、毎回、意欲的に取り組むことができています。

#### 《スポーツクラブ》

- ・今年度の目標 基礎体力をつける。肥満軽減。運動やスポーツの楽しさを味わう。球技大会とスポーツ大会の出場者は、楽しんで参加する中で入賞を目標に取り組む。
- ・実施場所 作業場1・井原リフレッシュ公園・近所の公園・河佐峡など
- ・実施日と時間 土曜日／10:00～11:30
- ・目的 健康維持増進を目的に、スポーツを通して楽しみながら体を動かす。また、運動をすることで体重の軽減につなげていく。
- ・内 容 屋内で運動をしたり、戸外でのスポーツも取り入れたりしていく中で、楽しく体を動かし体力作りを行っていく。年齢の幅や利用者それぞれの運動能力の違いを考慮し、運動の内容を考えていく。また、ゲーム等のルールをできるだけ簡単に、わかりやすく工夫していく。
- ・全体の評価 軽い運動、ゲーム、スポーツ大会・球技大会の練習を行いました。繰り返す事により、ルールの理解、順番待ち、活動内容への見通しがつきやすくなりました。体を動かす事やゲームなどを通じて楽しんで無理なく取り組む事が出来ました。

#### 【年間企画、参加行事】

- 2019
- 4. 21 第32回ふれあい広場（みゆき広場）
  - 5. 26 東部地区親善球技大会（尾道市びんご運動公園）
  - 6. 21 デイキャンプ（みゆき広場）
  - 7. 13 福山北特別支援学校夏祭り参加（福山北特別支援学校）
  - 7. 20 かやのみ幼稚園バザー自主製品販売（かやのみ幼稚園）
  - 8. 24 彩フェスタに出店で参加（リムふくやま）
  - 9. 15 東部地区親善スポーツ大会（福山市竹ヶ端 陸上競技場）
  - 11. 22 日帰り旅行（みろくの里）
  - 11. 9-10 みゆきフェスタに出店で参加（御幸小学校）

- 1 2. 2 松尾貴臣氏ライブ（みゆき広場）
- 1 2. 6 御幸小学校体験学習（みゆき広場）
- 1 2. 2 0 忘年会クリスマス会（みゆき広場）
- 2020 1. 1 0 新年会（みゆき広場）
- 2. 3 節 分（みゆき広場）

### 【健康管理】

日常生活に必要なバイタルチェック（体温・血圧・脈拍数）を毎日行っている。看護師は水曜と土曜以外の平日 AM9:00～PM12:00 に勤務しており、利用者や職員のバイタルチェックについて必要と思われる適切な措置を講じている。また、協力医療機関の連絡調整や、健康保持のために必要な支援を行っている。

### ○2019 年度健康診断

- ・日 時：2019 年 11 月 29 日（金）13：00 から
- ・場 所：みゆき場 本館 作業場 1
- ・実施人数：利用者 男子：22 名 女性：10 名
- ・実施機関：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容：
  - ・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重
  - 腹囲・BMI・理学的検査（診察）・血圧測定・尿検査（尿中糖及び蛋白及びウロピリの検査）・視力・聴力・胸部・X 線撮影・心電図検査・血液検査（肝機能・脂質・糖尿病検査）・尿検査
  - ※健康診断時、無料（公費）風しん抗体検査実施 4 名

### ○2019 年度職員健康診断

- ・日 時：11 月 8 日（金）から 11 月 30 日（土）／ 23 名
- ・場 所：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・実施人数：職員 男性 10 名 女性 13 名
- ・実施機関：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容：
  - ・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重・腹囲・BMI・理学的検査（診察）・血圧測定・尿検査（尿中糖及び蛋白及びウロピリの検査）・視力・聴力・胸部 X 線撮影・心電図検査・血液検査（肝機能・脂質・糖尿病検査）・尿検査

### ○2019 年インフルエンザ予防接種実施報告

今年度から健康診断時にインフルエンザ予防接種は実施しない為、各自かかりつけの医療機関 で接種をお願いしている。ご家庭で無理な利用者の方（8 名）はみゆき広場から職員付き添いにて平井外科胃腸科医院等にインフルエンザ予防接種を受けに行っている。

### 【お口の健康相談】

実施機関 医療法人社団 義恵会 土屋歯科医院

実施期間 2019年10月16日(水)／10月23日(水)

実施人数 13名(10/16)／13名(10/23)

昨年に続きお口の健康相談を行っていただき、その内数名がご家庭で訪問歯科を利用され、歯科治療をすることが出来るようになったことで、ご家族に大変喜ばれている。

## 【各種会議の状況】

### 1) 職員会議

職員会議は原則第1土曜日の15:20～17:20の2時間で行っている。毎月の協議及び、周知すべきことを、職員会議において決めている。また、施設内研修、ケア会議もこの時間でおこなっている。

### 2) ケア会議

毎日の連絡会議終了後、月に2回木曜日にケア会議を行っている。会議においては、利用者のモニタリングを行い、個別支援の見直しを行っている。会議において個別支援を変更する必要がある場合は、利用者並びに家族の同意を書面で得た後、支援内容を変更している。支援計画の終了時には最終評価を行い、面談で再アセスメントを行い、ご本人のニーズにあった個別支援計画を作成している。

### 3) 連絡会議

毎日午後5時から5時20分まで開催し、利用者の状態の把握、翌日の予定などの申し送り事項を周知する会議として位置づけ行っている。

### 4) 給食会議

基本的には業務委託業者による加工済み食材を過熱して提供している。汁、ご飯については自己調理を行っている。利用者のリクエストを取り入れるため、毎月第3水曜日の誕生日会メニューについては調理員と施設長と誕生月の利用者で決めており、みゆき広場で自己調理を行っている。また、毎月第1土曜日をリクエストメニューの日として位置づけ、全員で主菜等を決めている。利用者が選びやすいように、主菜の写真を作り投票で選んでもらうなど工夫をしている。ここ数年は支援学校卒業後の利用者が増え、ボリュームのあるおかずの要望に応える為、2019年2月よりゆめサポートバク様の宅配弁当おかずのみを取り入れた。また、リクエストメニューではない土曜日にはカレー曜日として月に1回程度カレーを食していただいている。お弁当ではカレーがないため利用者皆様に大変喜んでいただいている。

### 5) 勉強会

毎月土曜通所日の14:00から15:00まで非常勤職員と正職員とで、支援について勉強してもらっている。利用者支援内容を共有することで利用者自身が困らないようにしている。非常勤職員からの提案も聴くことができ、職員のスキルアップや、より良い支援に繋がっている。

【防災訓練】火災を想定した訓練を年2回行い、防災意識を身に付ける機会を得る。又、水害等の避難訓練を年に2回行う。

○第1回、3回火災訓練(合同訓練・消火訓練、避難訓練／みゆき広場)

令和元年12月27日・令和2年3月30日

○第2回、4回水害訓練(津波避難訓練／) 令和元年12月6日・令和2年3月21日

今期も2回の火災避難訓練を行い、緊急時に備えての模擬体験・意識付けなどを行って来た。非常事態



発生の告知から4分以内での避難ができるようになっている。今期は新たに利用開始した利用者が初めての避難訓練を経験する。非常事態発生の意識はあるようではあるが、外に出ようと促されても外に出ようとしなかったり、気になるものがあつたのか館内に戻っていくことも見られた。また回数を重ねていき、新利用者にも意識を持ってもらうよう促していきたい。2回目の火災訓練では防火責任者不在時に行い、いつものように避難できるかの訓練を行った。又、年2回の地震・津波・水害を想定し、広域避難場所への移動を含めた避難訓練を行った。こちら回数重ねていきスムーズな避難と、避難時に考えられる危険を知る機会としたい。

## 【職員研修、出張、視察等の状況】

### 1) 職員研修・各種大会等への参加・施設見学等の状況

- 2019 4. 15 社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー  
岡山コンベンションセンター
4. 17 福山市障害者（児）施設連絡協議会研修会 福山すこやかセンター
4. 18、19 第51回中国地区知的障害関係施設長会議  
TKP ガーデンシティ広島駅前大橋
4. 26 平成31年度福山市社会福祉施設連絡協議会意見交換会  
福山ニューキャッスルホテル
6. 7 社会保険事務所説明会 リーデンローズ
6. 8 2019年度「事業所説明会」 北部市民センター
6. 17 2019年度第1回「TLSF」研修会 福山すこやかセンター
6. 19 令和元年度第1回支援スタッフ部会 障害者支援施設いくせい
6. 24 利用者退院の同行 賀茂精神医療センターから自宅
7. 4 2019年度福山市障害者（児）施設連絡協議会意見交換会  
福山市障害者（者）施設連絡協議会
7. 13 福山北特別支援学校 夏祭り 福山北特別支援学校
7. 14 社会福祉会計簿記「入門講座」 アステールプラザ
8. 2 広島県知的障害者福祉協会施設長管理者研修会 福山市西部市民センター
8. 21 令和元年広島県社会福祉法人経営者協議会広島県経営協セミナー  
TKP ガーデンシティ広島駅前
8. 24 TLSF 第6回彩フェスタ リム福山
8. 31 2019年度第1回福山市地域福祉貢献活動協議会研修会  
福山すこやかセンター
9. 7 社会福祉法人創樹会60周年記念研修、式典及び祝賀会  
福山ニューキャッスルホテル
9. 12、13 社会福祉会計簿記講座 初級 広島県社会福祉会館
9. 27 感染症予防対策に係る説明会 広島県民文化センター
9. 11、12 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修） 安芸区民文化センター
9. 25 令和元年度第2回支援スタッフ部会 障害者支援施設ルネッサンスほんごう
9. 28 2019年度日帰り旅行下見 みろくの里

- |      |        |                                    |                  |
|------|--------|------------------------------------|------------------|
| 10.  | 11     | 令和元年度安全運転管理者等講習                    | 広島県東部運転免許センター    |
| 10.  | 27     | 第43回ふれあい福祉祭り                       | ビッグローズ           |
| 11.  | 9、10   | みゆきフェスタ2019・第40回町民文化祭              | 福山市御幸小学校         |
| 11.  | 14     | 令和元年度 広島県知的障害者福祉協会 政策・調査・研究部会セミナー  | TKP ガーデンシティホテル   |
| 12.  | 13     | 令和元年度第2回支援スタッフ部会                   | 広島県社会福祉会館        |
| 12.  | 14     | 第29回社会福祉法人創樹会主催実践研修会               | 福山すこやかセンター       |
| 12.  | 19、24  | 強度行動障害支援者養成研修（フォローアップ研修）           | 育成会総合福祉センター      |
| 12.  | 6      | 利用者転院の同行                           | 賀茂精神医療センターから下永病院 |
| 2020 | 1. 17  | 社会福祉法人会計決算研修                       | 福山市生涯学習プラザ       |
|      | 2. 4   | 第2回合同施設長会議（研修）生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会 | 広島県社会福祉会館        |
|      | 2. 6、7 | 甲種防火管理新規講習                         | 福山市生涯学習プラザ       |
|      | 2. 6   | 「アート・ルネッサンス2020」展示作業               | 合人社ウェンディひと・まちプラザ |
|      | 2. 16  | 「アート・ルネッサンス2020」片付け作業              | 合人社ウェンディひと・まちプラザ |

### 【ボランティアの状況】

- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 団体 | 14団体（ふれあい広場86名・旧館大掃除20名等）  |
| 個人 | 22名延4日（大学生2名・専門学校2名・一般15名） |

### 【施設実習等の状況】

#### 1) 実習生等来訪

福山市立幸千中学校 延14名

(8/1:1名・8/3:1名・8/7:2名・8/8:2名 8/9:4名・8/16:2名・8/28:2名)

福山市立駅家南中学校 延9名 (8/1:3名・8/2:3名・8/5:3名)

福山市立御幸小学校 38名 (12/6)

\*4年生の環境グループと福祉グループの「紙すき体験」及び施設見学

#### 2) 旧館利用 団体 3 (15回)

#### 3) 理学療法士 毎週金曜日 9:30~11:30

利用者の体の状態を確認し機能訓練プログラムを職員と相談し決定。経過を観察しプログラムの変更等を行った。

#### 4) その他

##### ◆自由参観日の設定

- |     |            |
|-----|------------|
| 対 象 | : 利用者のご家族様 |
| 期 間 | : 毎月最終週平日  |
| 場 所 | : みゆき広場    |

◆事業所説明会

参加団体：障害福祉サービス 7 団体 (6/8)

主 催：特定非営利活動法人神辺育成会・特定非営利活動法人福山手をつなぐ育成会

場 所：福山市北部市民センター

◆アートサポートセンターひゅるる指導者派遣事業ワークショップ

参加者：27 名 (みゆき広場利用者 27 名)

アートサポートセンターひゅるる 2 名 (1/16)

講 師：西本 真裕子氏 (アートアクティビティ・アートセラピー講師)

場 所：みゆき広場

◆ダイハツ広島販売株式会社様との絵画レンタル事業

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅるるぼん様との業務委託契約により、ダイハツ広島販売株式会社様の下記の店舗でご利用者の絵画作品をレンタルで展示しました。今年も引き続き継続して展示致します。

- ・ U-CAR 南蔵王店 (南蔵王町 2-17-15)
- ・ 神辺フジグラン店 (神辺町新道上 1-4-1)
- ・ 神辺店 (神辺町上竹田 31)

【家族との懇談会】

第 1 回 4 月 11 日 (木) 13:30~15:00 (みゆき広場旧館)

第 2 回 7 月 18 日 (木) 13:30~15:00 (みゆき広場旧館)

第 3 回 10 月 17 日 (木) 13:30~15:00 (みゆき広場旧館)

第 4 回 1 月 16 日 (木) 13:30~15:00 (みゆき広場旧館)

2019（令和元）年度

指定特定相談支援事業所

みゆき広場

事業報告

自 平成31年 4月1日

至 令和2年 3月31日

社会福祉法人 歓びの園

2019（令和元）年度  
指定特定相談支援事業所みゆき広場事業報告

【職員体制】

- ・管理者 1名（みゆき広場管理者兼務）
- ・相談支援員 1名（常勤専従）
  - \*平成23年3月行動援護従事者養成研修課程修了
  - \*平成31年3月精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修修了

【基本相談】 ※担当利用者・家族等

基本相談（1件）  
計画相談終了後の方（以前担当だった方）

【計画相談】

- 新規契約（1件） ※1件保留中  
サービス利用計画の作成（63件）・モニタリング（101件）  
\*新規アセスメント実施（1件）・サービス利用計画案の作成（63件）  
契約終了（2件）※1件は一般就労へ、1件は介護保険へ移行したため
- ・利用支援 63件
  - ・継続支援 101件
  - ・提供時モニタリング加算 138件
  - ・新規加算 1件
  - ・行動障害支援加算 164件
  - ・精神障害者支援加算 141件

【定例会出席】

定例会（訪問件数増加・緊急対応の為不参加）  
福山市障がい者総合支援協議会「相談支援部会・相談支援事業所連絡会」

【会 議】

福山市障がい者総合支援協議会「ネットワーク会議・研修会」

【研 修】

- ・令和元年度相談支援研修会 福山ものづくり交流館スタジオA 山本  
行政説明「報酬改定後の相談支援事業所のあり方と相談支援専門員に求められる役割」  
講師：相談支援専門官 藤川雄一 氏  
講義「基本相談支援の重要性と支援付きの意思決定」～ストレングスモデルの実践を通じて～  
講師：日本相談支援専門員協会 菊本圭一 氏

